

有明まつり。有明ガーデン スポーツエンターテイメント広場で開催



地域のきずな 子どものふるさと 有明まつり10周年

9月12日(土)、有明ガーデンで開催

湾岸エリアで発展著しい街「有明」。

オフィスやタワーマンションのほか、大規模商業施設、レジャー施設、アリーナや劇場も開業され、訪れる人も年々増えている。先ごろは東京オリンピックパリンピックの開催地域として、より広く知られるようになった。人口は20年前から約20倍の1万6千人に増えた。

10年前の2016年、地域住民のためのお祭り「有明まつり」が有明小・中学校の校庭で初めて開かれ、縁日や盆踊り、お神輿も出て楽しんだ。その後、有明西学園に場所を変え、5年前から、大型商業施設「有明ガーデン」の広場で行うようになった。

今年は地元住民や企業による40店近くの縁日ブースが設けられる。有明の小・中学校の演奏に始まり、縁日、お神輿、組太鼓のほか、スポーツゲームやパフォーマンスも企画される。盆踊りの合間には10周年を記念した豪華賞品が当たる「ありあけクイズ」も予定されている。有明小・中学校や有明西学園の縁日ブース、有明中学校のまつり子ども実行委員の参加や嘉悦学園、東京有明医療大学のボランティアの協力もある。住民と企業、団体、行政など、それぞれが協力して行われるお祭りは、子どもたちの「ふるさと」の楽しい思い出になるにちがいない。

当時の有明は、皆さんの交流も少なく、挨拶も少なく、子どもの声も、人のエネルギーを感じる機会がなかったです。これに危機感を感じました。そこで自分が子どもの頃、楽しかった縁日や盆踊りのあるお祭りを提案し、何とか1回目をスタートしました。参加人数は2500人。人力も、資金も乏しかったのですが、翌年から、地元の企業や団体を一つひとつつまわり、協力をお願いに歩きました。子どもたちの笑顔や住民の熱気、街の活気が感じられるようになったのが、年々、顔見知りや協力する人も増え、横のつながりが強くなり、ボランティアの「NPO有明街づくりプロジェクト」も組織されました。5回目からは、「有明ガーデン」の協力で開催し、約25000人が訪れる地域のお祭りになりました。今では有明の小さな文化です。



今年で10回目、皆さん遊びに来てください

1回目から企画準備運営する増田みどりさん
(現・有明マンション連合自治会会長)



やぐらの上で自由に踊る盆踊り



「わっしょい」と、子ども神輿が街を練り歩く

開催日 9月12日(土) 14時～20時半

有明ガーデン
スポーツエンターテイメント広場

詳細は有明街づくりプロジェクト <https://www.aripro.tokyo/>

